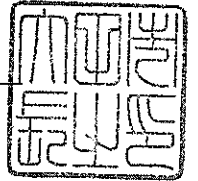




事第 197 号  
平成19年4月23日

国土交通省道路局長 様

島根県大田市長 竹腰創



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました、中期的な計画の作成にあたっての意見について、別紙のとおり提出いたします。

(別紙)

島根県大田市

地方の道路整備に対するニーズを踏まえ、その必要性についての意見を述べるものです。

現在の道路政策において、「道路整備はもう十分」などの考え方がある一方、道路特定財源の見直しに関する具体策の中では、地域間格差への対応や生活者重視の視点を踏まえつつ、地方の自立に不可欠な基幹道路の整備や渋滞解消のためのバイパス整備、高速道路や高次医療施設への広域的アクセスの強化など、地域の自主性に配慮しながら、適切に措置すると記されています。

もとより、道路整備は国民が安全で安心して暮らせるための最低限のインフラであり、一刻も早い高速道路ネットワークを構築すべきであると考えます。

島根県内の実情からすると、高速道路ネットワークの早期整備及び幹線道路ネットワークの構築、生活関連道路整備を着実に進めることが、災害への対応や救急搬送での時間短縮につながるとともに観光・産業などの地域経済に及ぼす影響からも、着実な整備が図られるよう早期に計画を樹立してほしいと望むところです。

大田市としては、だれもが住みよい県央の中核都市づくりの基盤整備として、今夏予定されている石見銀山遺跡の世界遺産登録を機に出雲と石見を結ぶ新たな広域観光ルートの形成や地域資源の有効活用による活発な産業振興の展開、医療機関への搬送時間短縮につながる道路こそ、真に必要な道路と捉えているところです。そのためには、現在整備が進められている多伎・朝山道路、朝山・大田道路、仁摩温泉津道路の進捗はもとより、県内で遅れている出雲以西の山陰道が全国ネットワークと結びついてこそ効果を発揮するものと確信しています。

整備率の低い県内の高速道路ネットワークが早期に完成する仕組みを中期的な計画に盛り込んでいただきたいと思います。

道路整備のニーズが高い地方の意向として、高速道路の必要性は採算性だけでは図れません。多様な波及効果を生み出し、快適な地域づくりを目指すためにも一日でも早い供用が出来る山陰道全線の道路整備をお願いいたします。